



生活衛生ニュース

October 2017

Vol. 4 / No.10 (通巻46号)

発行：(株) 静環検査センター

静岡県藤枝市高柳2310番地 tel.054-634-1000 fax.054-634-1010

身近な環境科学のすすめ

～瀬戸川の自然をもとに～

私は静岡県の藤枝市に住みはじめて20年が過ぎましたが、藤枝市はとても自然が豊かで変化に富んでいます。ここではその一部ですが、毎年弊社がバーベキュー大会を開催している瀬戸川について述べてみようと思います。

人気のバーベキュースポット

瀬戸川は、標高871mの高根山に端を発し、藤枝市・焼津市を流れて駿河湾へと注ぐ2級河川です。流れは比較的緩やかで河原が広いので、週末には流域の所々でバーベキューを楽しむ若者・外国人・家族連れが見られます。勝草橋(地図参照)付近は市街

地にも近く、見事な桜並木もあるので、特に人気のバーベキュースポットです。

豊かな水辺

そんな勝草橋付近の河原から、上流に向かって歩いていきますと、木の根や草が覆いかぶさった岸辺や河畔林のある水辺が増えてきます。木の根や草の下で、水の流れが緩やかになったところを覗いていきますと、水面付近に小さな魚(カワムツの稚魚と思われま)がチラホラ泳いでいますし、水底の砂からは時々ドジョウが顔を出します。夏場にはトンボのヤゴが歩いていることもあります。

水辺の草の下を網で探ると、たくさん魚が獲れます。カワムツの稚魚をはじめ、ドジョウ、ヌマチチブ、シマヨシノボリ、テナガエビ類…。息子が友人とウナギを捕まえてきたこともあります。天然のニホンウナギは絶滅危惧種IB類(EN)(近い将来、野生での絶滅の危険性が高い種、表参照)なので、食べずにリリースしましたが、ウナギが棲みついているということは、魚などの餌が豊富で、隠れ家となる石の隙間がきちんとあるということです。多様な生物が生息し得る河川環境があるといえます。

カワセミとコムラサキ

さらに上流には、親水公園である寺島河川敷公園(地図参照)があり、

【次頁に続く】

表 環境省レッドリスト2017におけるカテゴリー(ランク)

カテゴリー(ランク)	記号	内容	代表的な種
絶滅	EX	我が国ではすでに絶滅したと考えられる種	ニホンオオカミ ニホンカワウソ (北海道亜種・本州以南亜種)
野生絶滅	EW	飼育・栽培下、あるいは自然分布域の明らかに外側で野生化した状態でのみ存続している種	トキ
絶滅危惧 I 類	CR+ EN	絶滅の危機に瀕している種	カブトガニ
絶滅危惧 IA 類	CR	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの	イリオモテヤマネコ ヤンバルクイナ
絶滅危惧 IB 類	EN	IA 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの	アカウミガメ ニホンウナギ ライチョウ
絶滅危惧 II 類	VU	絶滅の危険が増大している種	アオウミガメ タンチョウ
準絶滅危惧	NT	現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種	オオムラサキ トノサマガエル ホンドオコジョ
情報不足	DD	評価するだけの情報が不足している種	ドジョウ ニホンスッポン
絶滅のおそれのある地域個体群	LP	地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの	北奥羽・北上山系のホンドザル

【前頁の続き】

そのすぐ上流には新東名の大きな橋梁が頭上を横切ります。この付近では毎年のようにカワセミに会います。瑠璃色の羽を広げてまっすぐ飛ぶ鳥なので、比較的分けやすい鳥です。

なぜカワセミがいるのでしょうか？

寺島河川敷公園付近は、一方の岸が山に接し、反対側も草や木が多いので、隠れ家や止まり木が十分にあります。餌となる小魚もいます。これがずっと棲み続けられる理由ではないかと思われます。

10年程前になりますが、この付近の日なたの護岸の上で、コムラサキにも出会いました。コムラサキは日本の国蝶であるオオムラサキより小さく、一見蛾のようにみえるのですが、名前の通り雄の羽はきれいな紫色に染まっています、美しい蝶です。

コムラサキはなぜいるのでしょうか？

コムラサキは、秋から冬は幼虫としてヤナギ科の植物にくっついて過ごし、翌年春～夏にかけて成虫になります。つまり、近くにヤナギ類の河滩林が豊かにある証拠です。幼虫の間に大規模な河川改修でヤナギ類を無くしてしまうと死滅してしまいます。

健康と環境

ここでは自然豊かな瀬戸川を題材にしましたが、みなさんも、お近くの山や川の鳥や虫、魚に注意を向けてみてください。それらがなぜそこにいるのかを考えてみると、いかに鳥や虫、魚たちが、周りの環境に繋がって生かされていることが分かるでしょう。

それはごく当たり前の生態系なのかもしれませんが、私たち人間も同じことで、周りの環境が健康だからこそ、健康的に生かされているということなのです。

(文責：小南 美和子)

(参考資料)
環境省ホームページ



カワセミ



コムラサキ

※写真：当社静岡事業所社員撮影



お問い合わせ

TEL 054-634-1000 FAX 054-634-1010
http://www.seikankensa.co.jp

最新の分析機器と高精度な技術で暮らしの安心、安全をサポートする

株式会社 静環検査センター

静岡県藤枝市高柳2310番地